

# 家族で詐欺を防ぐ

山口県山陽小野田市立高千帆中学校 3年

山下 真優樺



ニュースや新聞などで、お年寄りが詐欺の被害に遭ったという話をよく耳にする。うそ電話詐欺の被害に遭った人の中で、お年寄りの割合は高いらしい。

私は、祖父母と同居している。毎日一緒にご飯を食べたり、テレビを観たりと楽しく暮らしているが、もし祖父母が、うその電話を信じてお金を騙しとられたらと思うと、とても不安になる。

県内のお年寄りが詐欺の被害に遭ったというニュースを見たときに、

「よくそんな大金もとったね。」

「なんで騙されるん。馬鹿じゃないの。」

などと、祖父母は笑っているの、祖父母自身はきっと、自分は騙されるわけがないと思っていると思う。しかし、祖母は、スマホの操作を少し誤っただけで、すごく慌ててしまうし、祖父は、病院の受付の機械が難しそうだし。そんな祖父母の姿に、私の心配は募るばかりだ。うそ電話詐欺は、電話一本で、大切なお金が騙しとられてしまうこともあると考えると、この問題に真剣に考えていく必要があると思う。

うそ電話詐欺には、さまざまな手口がある。例えば、「孫が事故にあったからすぐにお金が必要だ。」などと急かすものや「銀行口座が不正に利用されているから確認が必要だ。」などと、もっともらしい理由をつけて、うそをつくものなどだ。中には、親族や警察官、弁護士などを名乗って、重要な個人情報を聞き出そうとする場合もある。

冷静に考えたら、身内が事件や事故に巻き込まれた場合、最初にお金を要求することはないと思う。お金の心配をするよりも、まずは、巻き込まれた人の安否を気にするはずだ。電話一本で、いきなりお金の話をするのはおかしい。警察官や弁護士が、電話や訪問で、直接お金やカードを要求することは、絶対にありえない。もし、そのような話があれば、それは本物ではなく、詐欺だといえるだろう。警察官や弁護士を名乗る人物による詐欺だ。

冷静なときに考えてみると、怪しいため、詐欺を疑うことができる。しかし、人を騙す人は、相手の不安を煽り、冷静な判断ができない状態をわざと作り出して、お金を騙しとっている。さらに、電話のタイミングにも気を使っていて、あえて、家族と連絡のとりにくい時間を狙ってくることもある。また、「今すぐに対応しないと大変なことになる。」などと深く考える時間を与えず、すぐに行動させようとする。このような焦らせるような手口は、お年寄りだけでは

なく、誰もが冷静さを失ってしまう可能性がある。そのため、被害に遭わないための対策を、家族全員でする必要がある。

そこで、詐欺被害を防ぐために、中学生である私ができることはないか考えた。まずは、詐欺被害に繋がらないために、知らない電話番号や非通知の電話は出ないことだ。これは、我が家ではもう実践している。知り合いの電話番号以外は電話に出ないことで、詐欺被害を未然に防ぐことができる。

次に、もし詐欺電話に出てしまった場合だ。本当かうそかを、その場ですぐに確かめられないときもあるかもしれない。そんなときには、「一人で判断せずに、ただちに家族など周りの人に相談すること」と「怪しいと感じたら、すぐに電話を切ること」の二つが大切だと思う。たとえ、相手が怒った口調であったとしても、気にせずに電話を切る勇気を持つことが大事であると思う。

例えば、家の固定電話は祖母が出ることが多いため、固定電話の近くに「お金の話が出たら切ってね」「知らない番号の電話には出ないでね」などのメモを貼るようにしたい。祖母は強がりなので、すぐにそうしてくれるかは分からないけど、意識づけができるので効果が出るだろう。

また、私だけでなく複数人が家にいるときは、みんなで番号を確認して、知り合いかどうか確認するようにしている。知らない番号の電話には出ず、知っている番号かどうか何重にも確認することで、安心して電話に出ることができる。

電話以外にも、最近はSNSを使った詐欺が増えているといったニュースも耳にする。知らない人からのメッセージや不審なリンクを開かないようにと、そういったニュースを見るたびに家族全員で確認している。家族を守るだけでなく、自分も守れるように工夫していきたい。

詐欺の被害は、お年寄りだけが対策をすればいいものではないと思う。家族全員で協力して防ぐものだと思う。電話に出る人だけでなく、周りで見守る人の声かけや普段からの会話などから防犯意識を高めることができる。

実際、私の家では祖父母が安心して生活できるよう、知らない人からの電話に出ないようにしたり、電話の近くにメモや注意書きを貼ったりと、小さな工夫を重ねているところだ。

また、私自身も詐欺に関する知識を増やしたり、インターネットなどの使い方を見直したりして、詐欺被害に遭わないようにしていきたい。